■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会　毎年3月31日 期末配当　毎年3月31日 中間配当　毎年9月30日（中間配当を実施する場合）

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲二丁目3番1号
事務取扱場所	住友信託銀行株式会社　証券代行部
（郵便物送付先）	〒183−8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	0120−176−417
（インターネットホームページURL）	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

【特別口座について】
株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設いたしました。
特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

公告方法	電子公告により、当社のホームページに掲載します。 URL　http://www.mars-eng.co.jp/kessan/index.html ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京証券取引所

株主様ご優待のご案内

3月31日現在、100株以上保有の株主様に下記のご優待をご用意しております。同封のカタログ「めぐり旅」よりお好きなものをお選びいただけます。詳細につきましては、カタログをご覧ください。

●100株以上
3,000円相当の地方特産品
（カタログより選択）

●500株以上
5,000円相当の地方特産品
（カタログより選択）

●同封の専用ハガキにてお申込みください。

お申込み締切日　平成22年8月31日（当日消印有効）

●株主ご優待に関するお問い合わせ先（6月26日より開設）
株主様優待事務局　TEL：0120-156-533

PRINTED WITH SOY INK
地球環境に配慮した大豆油インキを使用しています

株式会社 マースエンジニアリング
〒160-8420 東京都新宿区新宿1-10-7
TEL. 03-3352-8555（代）
URL：http://www.mars-eng.co.jp

［マースジャーナル］

第36期　年次報告書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

Vol.8

MARS Journal

株式会社 マースエンジニアリング

Message from MARS ［株主の皆様へ］

プリペイドシステムの市場シェア20%達成！
パーソナルPCシステムで市場シェアの一層の拡大を目指します。

代表取締役社長　松波　明宏

株主の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。当社グループの事業活動につきましては平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度におけるパチンコ業界において、少額で遊技が楽しめる低貸玉営業が遊技ファンの支持を受けて全国に広まり、長年続いていた遊技参加人口の減少に歯止めをかける一方で、ホールに対するリースや融資等の金融環境は依然として厳しい状況が続きました。

そのような状況の中で、当社グループは、玉積み演出が主流の当業界において、玉積み、玉運びをなくし、少数精鋭でホール運営ができる「パーソナルPCシステム（以下、「パーソナル」という。）」を積極的に販売してまいりました。

パーソナルは、顧客ニーズに合わせて3タイプを取り揃え、有機ELディスプレイを使用した情報コンテンツ配信サービスや遊技ファンの利便性を重視したファミリープログラムなどソフトの充実を図り、付加価値の向上を目指してきた結果、パーソナルは高く評価され、当連結会計年度末現在のパーソナル導入実績は558店舗（市場シェア５%）となりました。

プリペイドシステムの市場シェアはパーソナルが牽引し、中期計画20%を達成することができました。今後の計画では25%に引き上げ、市場シェアの一層の拡大を目指してまいります。

当社グループは、企業価値の向上を図るため、現業種に留まることなく、異業種への展開を模索しております。RFID（非接触データキャリア）事業においては、医療施設を始め、公共施設の図書館や学童クラブへの導入など、実績を積み上げ、また、静岡県御殿場市に建設中のホテルは10月の開業に向け準備を進めており、いずれも今後のグループ中核事業に発展することを期待しております。

株主の皆様には、今後とも格段のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

Review of MARS ［営業の概況（連結）］

当連結会計年度の業績

当連結会計年度の業績は、売上高293億19百万円（前期比1.5%増）、営業利益は73億40百万円（同0.8%減）、経常利益は74億74百万円（同1.6%減）、当期純利益は45億11百万円（同4.4%増）となりました。事業別の状況は次のとおりです。

［アミューズメント関連事業部門］
（プリペイドカードシステム）

この分野の主軸であるパーソナルPCシステム（以下、「パーソナル」という）は、広く業界に認知されつつあり、市場シェアは一層拡大できるものと考えて、当社グループは顧客ニーズに合わせて3種類のパーソナルをラインアップするなど、トータルシステムでの提案ができる強みを持って販売を展開いたしました。また、ソフトの充実によりパーソナルの機能性や利便性を向上させることで付加価値を高め、競合他社との差別化を図ってまいりました。この結果、当連結会計年度のパーソナルの売上実績は259店舗、発売以来の累計導入（実稼動）店舗数は当期末時点で558店舗となりました。また、パーソナルを含めたサイクルカードシステムの売上実績は318店舗、導入（実稼動）店舗数は累計2,056店舗（市場シェア20.2%）となり、中期計画として掲げていたプリペイドカードシステムにおける市場シェア20%を獲得いたしました。この結果、当システムの個別売上高は142億85百万円となりました。

（景品管理システム）

タッチパネル液晶の搭載で利便性に優れ、省エネにも配慮した景品払出収納庫m9600を新たに販売開始したことなどにより、当システムの個別売上高は31億41百万円となりました。

（RFID）

RFIDの新たな市場を模索すべく、アミューズメント施設向け認証システムやセキュリティ機器向け認証基板等の拡販のため、展示会等への積極的な出展を行い、図書館や小学校向けに導入実績を上げることができました。また、健診センター向けシステムは全国の施設へ導入が進み、今後の大きな商材として更なる拡販を見込んでおります。この結果、RFIDの個別売上高は、7億77百万円となりました。

その他品目の個別売上高を合計した結果、アミューズメント関連事業部門の個別売上高は287億81百万円（同1.7%増）となりました。

［その他事業部門］

福岡市博多区でホテル事業を行っておりますが、立地の良さやサービスの質の高さが評価され、同地区において高稼動を維持しているものの、世界的な金融危機の影響が大きく、その他事業部門の個別売上高は5億37百万円（同8.8%減）となりました。

次期の見通し

当社グループの主要販売先であるパチンコ業界は、雇用情勢や個人消費の低迷の余波で来客数や遊技金額が減少する可能性があり、今後もパチンコホールの経営環境は厳しい状況が続くものと予想されます。その一方で、新たな遊技ファンの獲得に向けた低貸玉営業を展開し、収益の改善を図るパチンコホールもあり、二極化が一層明確になっていくものと予想されます。

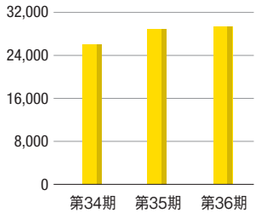
このような状況の中で、当社グループは開発、製造、販売、メンテナンスを一貫体制で行い、コストの低減に努めるとともに、顧客ニーズを先取りした製品の開発を積極的に進め、周辺設備への更新需要の掘り起こしを行ってまいります。

当社グループが業界の標準化を目指しているパーソナルは、導入店舗数が500店舗を超え、業界内で「玉積みをしないシステム=パーソナルPCシステム」が浸透してまいりました。競合他社も玉積みをしないシステムを販売し競争は激化しているものの、長年積み上げてきた実績やブランド力、付加価値の高い機能性や利便性、トータルシステムで提案できる商品ラインアップの多さを武器に、導入店舗数は更なる増加を見込んでおります。

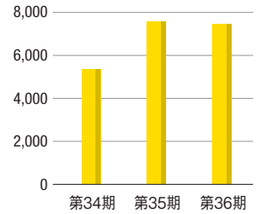
また、RFIDにおきましては、実績のある健診センター向けシステム及びポイント管理端末の拡販に力を注いでより一層の実績を積み上げると同時に、新規分野への展開を進めてまいります。また、業務・資本提携先の株式会社東研との共同開発や販売を進めて新たな需要を発掘し、将来の事業の柱へと成長させていくことを目指してまいります。

以上により、次期の連結会計年度の業績は、売上高311億2百万円（前期比6.1%増）、営業利益68億円（同7.4%減）、経常利益69億59百万円（同6.9%減）、当期純利益38億67百万円（同14.3%減）を見込んでおります。

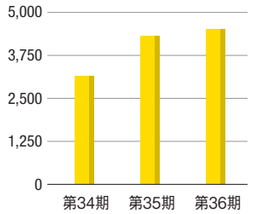
売上高（百万円）



経常利益（百万円）



当期純利益（百万円）

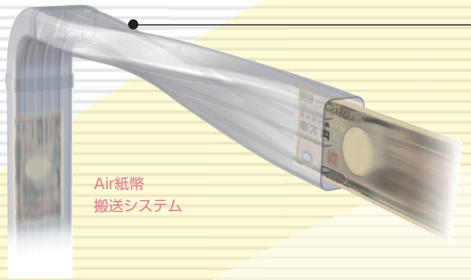


Mission of
MARS

[MARSの主要製品]

パーソナルPCシステムを支える製品群

パーソナルPCシステムをより効率的に活用していただくため、当社グループは、今までの経験や技術力を活かして、様々な関連製品を開発するとともに、バックグランドシステムの充実を図っています。



Air紙幣
搬送システム

Air紙幣搬送システム

空気の力で紙幣を運ぶ世界初の技術を採用。紙幣は筒の中を通り、島端金庫に急送され、安全な金銭管理を確保します。搬送経路を自由にレイアウトができ、可動部があまりないため、紙幣詰まりもなく、メンテナンスも容易です。

現在、100店舗を超えるパチンコホールで採用され、導入店舗は拡大を続けています。

オーダー端末／ハンディターミナル／マルチターミナル

パーソナルPCシステムとの連動で、玉積みのない通路でのワゴンサービスなど、今までにないサービスを実現します。カードでスピーディに決済できるので、お客様を待たせることなく、スムーズでスマートな接客が可能です。ホールにおける新しいサービスをサポートします。

オーダー端末／
ハンディターミナル　m35H

マルチターミナル　m35

パーソナルPCランプ

パーソナルPCシステムの導入で玉箱の積み上げがなくなった分、それに代わる出玉感と新しい演出を望むパチンコホールのニーズに応える形で開発いたしました。

パーソナルPCランプは玉箱をイメージした外観で、表示部にはその場で計数した玉数を分かりやすくデジタル表示します。出玉数に合わせて派手に点灯するLEDは、光による新しい演出として効果を発揮しています。

パーソナル
PCランプ p100

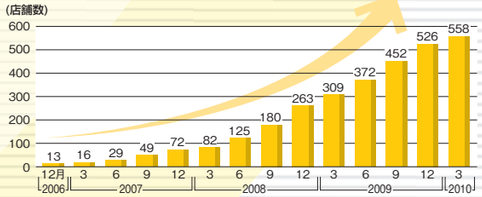
K1-PS(Ⅲ)

パーソナルPCシステム

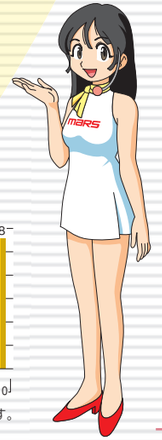
パチンコホール内の玉運びや玉積み業務をなくし、少数精鋭で効率的にホール運営を行うことができ、経費、業務、労働環境の改善を実現する「パーソナルPCシステム」は、業界の新しい標準となりつつあります。

ホール利用者にとっても、入金、遊技、計数のすべてが座ったまま行えるため利便性が向上します。多くの方にメリットがあるパーソナルPCシステムは、全国各地のパチンコホールに次々と導入されています。

●パーソナルPCシステムの導入店舗数(累計)



(注)今号より導入(実際にパーソナルを使用している)店舗数に変更しています。



ホール
コンピュータ　M7

ホールコンピュータ

遊技台のリアルタイムなデータ管理から分析、経営戦略の立案まで、ホール経営に有益な情報を的確に提供します。また、パーソナルPCシステムやセキュリティシステムと連動して、これまでにない高いセキュリティ体制を構築することが可能となりました。

ICカード

2,400万枚発行！

当社のプリペイドカードシステムで使用する「ワンデーカード」と「サイクルICカード」の発行枚数が1,000万枚を突破。その他、会員カードとサイクルコイン、RFID関連のICカードを含めると発行枚数は2,400万枚となり、現在国内で発行されている主なICカードの状況*から見ても、大きな実績を上げています。

＊主なICカードの発行枚数=Suica:3,000万枚、PASMO:1,200万枚、タスポ:1,000万枚、Edy:4,700万枚(当社調べ)

MARS Action! [導入事例]

パーソナルPCシステムが全国各地に続々と導入されています。

[福岡県北九州市八幡西区]

ユーコーラッキー三ヶ森店様

「笑顔と元気の創造」を掲げ、価値あるサービスを提供し続けるユーコーラッキーグループ様。九州を中心に全国で31のホールを経営する同グループ様は、グループ初となるパーソナルＰＣシステムを「ユーコーラッキー三ヶ森店」様でご採用されました。

パーソナルＰＣシステムは、玉積みをしない業界の新しい遊技スタイルでファンの目線に立ったワンランク上のサービスを実現。同ホール様では楽ｃａ（ラクカ）システムの愛称で、多くの遊技ファンに親しまれています。

ユーコーラッキー三ヶ森店様のコメント

ユーコーラッキーグループは、皆様の「笑顔と元気」を創るため、笑顔の環「Smiloop（スマイループ）」を広げ続けたいと思っています。

人の心をワクワクさせ、ときめきで満たし、笑顔が生まれるような質の高いサービスを提供し、更には、お客様にとって便利で多くのメリットがある楽ca（ラクカ）システム（パーソナルPCシステム）の魅力と楽しさを伝えながら、業界の新しいスタイルの発信基地になることを目指しています。

[栃木県鹿沼市]

ライブガーデン鹿沼グランドシティ様

東北自動車道鹿沼ICより車で5分のところに位置する「ライブガーデン鹿沼グランドシティ」様は、カフェや託児所を兼ね備えた総台数880台の大型店として昨年12月にグランドオープンされました。

台ごとにパーテーションと空気清浄機を設置し、個別の空間を確保。TV画面からいつでも飲み物を注文できるTVタイプのパーソナルPCシステムをご採用いただきました。

まさに至極の快適空間を提供する同ホール様は、多くの地元ファンを魅了し、地域密着型ホールとして愛されています。

ライブガーデン鹿沼グランドシティ様のコメント

当店では「全てのお客様に、最高のおもてなしを」をポリシーに「ライブクオリティ（①快適遊空間、②環境・設備、③サービス）」を推進しています。

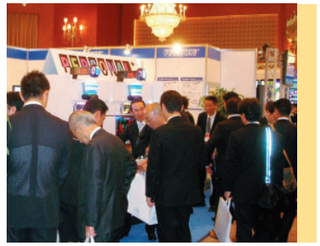
お客様の利便性を考慮して設備を厳選し、パーソナルPCシステムや個別パーテーションの導入に至りました。

全席プレミアムシート化した快適遊空間と託児所などの環境施設、一人一人と向き合った丁寧な接客サービスで地域の遊技ファンに愛される店舗を目指しています。

Topics of MARS [トピックス]

TOPICS 1

余暇進創立10周年記念「セミナー＆展示会」開催。



平成21年11月19日に、一般社団法人余暇環境整備推進協議会（余暇進）の創立10周年を記念した「セミナー＆展示会」が福岡市で開催されました。当社は、各台計数システム（＝パーソナルシステム）のパイオニアとして、先方からの強い要望もあり、展示会への出展及びセミナーを行いました。

セミナーにおいて当社社長が基調講演を行った際には400人を超える関係者が詰めかけ、当社への注目の高さがうかがえました。展示ブースにも大勢の来場者が訪れ、パーソナルPCシステムの完成度の高さを改めてアピールすることができ、導入躍進へ大きな期待が持てる展示会となりました。

TOPICS 2

「児童安否システム」初導入！

当社子会社である株式会社マーステクノサイエンスのRFID機器「MTR-200」が練馬区内の全学童クラブに設置されました。

児童が来室・退室の際にICカードをかざすだけで、保護者に電子メールで情報を送信します。この『ねりまキッズ安心メール事業』（運営：株式会社レノメディカ様）は、練馬区のICT（情報通信技術）を活用した安全・安心支援施策の一つとして、区内の学童クラブに在籍する児童のうち利用希望者を対象に、6月から区内全学童クラブで運用開始予定です。98施設にもなる学童クラブ（民間学童クラブを含む）全施設へのシステム導入は、全国初の試みとなります。

Group of MARS

［グループ会社紹介］

グループニュース 1 株式会社ホテルサンルート博多、商号変更、本店移転及び吸収分割を実施

ホテルサンルート博多

グループ事業の再編や今後の事業拡大を見据え、当社子会社の株式会社ホテルサンルート博多は、平成21年12月7日付で「株式会社マースプランニング」に商号変更し、本社を東京都新宿区へ移転いたしました。

また、平成22年4月1日に、同じく当社子会社の株式会社マースコーポレーションの不動産事業の一部（ホテル事業資産）に関する権利義務を株式会社マースプランニングに承継させる吸収分割を実施いたしました。

グループニュース 2 株式会社東研と業務・資本提携

当社は、平成21年12月4日に株式会社東研と業務及び資本提携を決議いたしました。

当社ではアミューズメント業界において培った実績や技術を基に、RFIDをキーワードとする新規事業を展開中ですが、株式会社東研の主力製品である2次元コードリーダーが、当社のRFID製品の補完的な位置づけにあり、様々なシナジー効果が期待できると判断いたしました。

今後は、協力体制を築くことで、自動認識分野における商材の拡大や販売チャネルの相互活用、共同開発及び仕入れによるコスト削減などに努めてまいります。

会社概要（平成22年4月1日現在）

商　　号	株式会社東研 （JASDAQコード 6738）
本社所在地	東京都新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル10階
設立年月日	昭和45年5月9日
資 本 金	13億1,290万円 （平成22年1月31日現在）

主な取扱商品

2次元コードリーダー

固定式2次元コードリーダー

汎用ナノフォーカスX線顕微検査装置

① 株式会社マースコーポレーション

ホール向けマースエンジニアリング製品のリース販売及び貸金業務、マースグループ保有不動産の賃貸借管理。

② 株式会社マーステクノサイエンス

RFID（非接触データキャリア）事業、ICカードの販売、情報処理サービスの提供、関連ソフトの開発。

③ 株式会社ウインテック

電子機器及び情報機器の設計・製造・販売、並びにメカトロニクス関連の技術指導。自社開発製品は、紙幣識別機、カードリーダ、自動販売機、カードプリンタなど。

④ 株式会社マースネットワークス

カードシステムの第三者管理、情報処理機器の企画・販売、情報処理サービス提供、コンテンツ配信事業。

⑤ 株式会社マースフロンティア

コンピュータ関連用品、電子機器等の企画及び販売。

⑥ 株式会社マースラインテック

パチンコ島補給装置の設計及び製造。

⑦ 株式会社マースプランニング（旧：株式会社ホテルサンルート博多）

福岡県の博多駅前に建設されたホテルサンルート博多を始めとするホテルの運営・管理。

MARS Network ［グループ会社／事業所一覧］

●本社
東京都新宿区新宿1-10-7

●札幌営業所
札幌市白石区南郷通8丁目北2-25
第3タヂカビル

●仙台営業所
仙台市青葉区大町1-3-7 横山ビル

●大宮営業所
さいたま市中央区新中里5-11-6

●千葉営業所
千葉市稲毛区小仲台2-3-12
こみなと稲毛ビル

●東京営業所
東京都新宿区新宿1-11-16
サンサーラ第五御苑ビル

●西東京営業所
東京都府中市栄町3-1-1

●横浜営業所
横浜市保土ヶ谷区神戸町134
YBPウエストタワー

●静岡営業所
静岡市葵区黒金町59-7
ニッセイ静岡駅前ビル

●名古屋営業所
名古屋市中区大須1-35-18 一光大須ビル

●京都営業所
京都市中京区烏丸通御池下ル
虎屋町577-2 太陽生命御池ビル

●大阪営業所
大阪市西区新町1-13-3 四ツ橋SIビル

●広島営業所
広島市中区大手町2-8-5
大手町センタービル

●福岡営業所
福岡市博多区博多駅東3-11-28
博多サンシティビルⅡ

●鹿児島営業所
鹿児島市西千石町17-3
太陽生命鹿児島第二ビル

●北見サービスステーション
北見市高栄東町1-11-37

●盛岡サービスステーション
盛岡市東新庄1-27-1

●郡山サービスステーション
郡山市桑野2-2-16 藤尾ビル

●松本サービスステーション
松本市島立302-5

●新潟サービスステーション
新潟市中央区出来島1-2-12
DNビル

●金沢サービスステーション
金沢市鞍月5-181

●兵庫サービスステーション
神戸市中央区東川崎町1-3-3

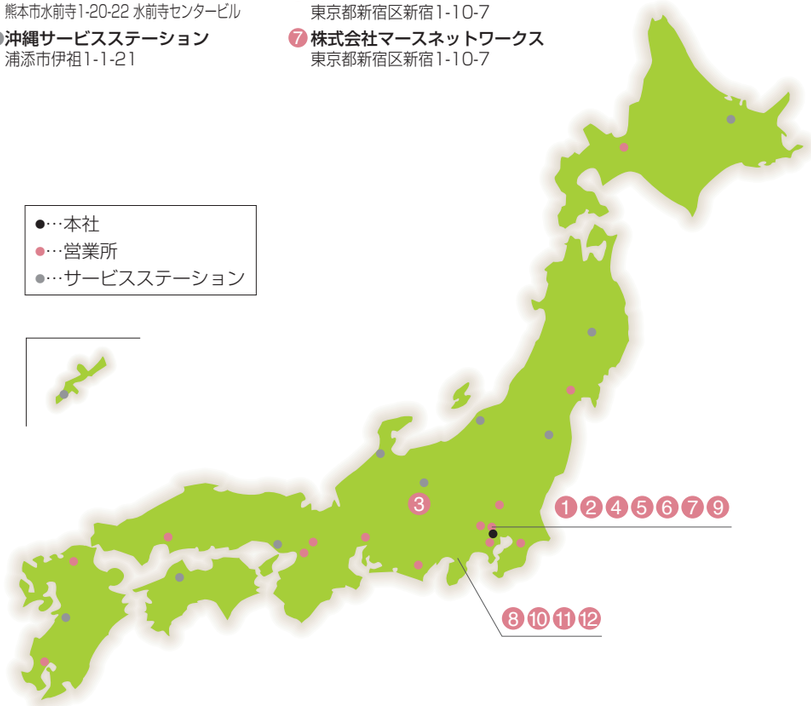
●松山サービスステーション
松山市空港通1-3-16 土居田OKビル

●熊本サービスステーション
熊本市水前寺1-20-22 水前寺センタービル

●沖縄サービスステーション
浦添市伊祖1-1-21

グループ会社／主要事業所

1. 株式会社マースコーポレーション
東京都府中市栄町3-1-1
2. 株式会社マーステクノサイエンス
東京都新宿区新宿1-8-5
新宿御苑室町ビル
3. 株式会社ウインテック
長野県埴科郡坂城町中之条1375-1
4. 株式会社マースプランニング（旧：株式会社ホテルサンルート博多）
東京都新宿区新宿1-10-7
5. 株式会社マースラインテック
東京都新宿区新宿1-10-7
6. 株式会社マースフロンティア
東京都新宿区新宿1-10-7
7. 株式会社マースネットワークス
東京都新宿区新宿1-10-7
8. 裾野技術センター
静岡県裾野市伊豆島田818-8
9. R&Dセンター
東京都新宿区新宿1-2-7
あいおい損保・新宿東共同ビル
10. 東富士工場
静岡県御殿場市柴怒田961-45
11. テクノ流通センター
静岡県御殿場市東田中2-22-25
12. パーツセンター
静岡県三島市南町8-5



Consolidated Financial Statements ［連結財務諸表］

連結貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科　目	当連結会計年度末 平成22年3月31日現在	前連結会計年度末 平成21年3月31日現在
資産の部		
流動資産	39,134,976	37,928,828
固定資産	18,315,022	16,784,067
有形固定資産	11,879,400	10,077,883
無形固定資産	188,596	125,826
投資その他の資産	6,247,025	6,580,357
資産合計	**57,449,998**	**54,712,896**
負債の部		
流動負債	13,199,035	13,896,301
固定負債	5,853,887	5,445,064
負債合計	**19,052,923**	**19,341,366**
純資産の部		
株主資本	38,846,034	35,441,498
評価・換算差額等	△448,959	△376,439
少数株主持分	—	306,470
純資産合計	**38,397,075**	**35,371,529**
負債純資産合計	**57,449,998**	**54,712,896**

連結損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科　目	当連結会計年度（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）	前連結会計年度（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）
売上高	**29,319,307**	**28,893,731**
売上原価	**14,359,208**	**14,152,960**
売上総利益	14,960,098	14,740,770
販売費及び一般管理費	7,619,131	7,337,916
営業利益	**7,340,966**	**7,402,854**
営業外収益	**145,081**	**199,544**
営業外費用	**11,212**	**4,972**
経常利益	**7,474,835**	**7,597,425**
特別利益	**288,619**	**32,630**
特別損失	**21,144**	**328,343**
税金等調整前当期純利益	**7,742,310**	**7,301,712**
法人税、住民税及び事業税	3,077,960	3,098,313
法人税等調整額	140,553	△145,073
少数株主利益	12,351	29,018
当期純利益	**4,511,445**	**4,319,454**

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

科　目	当連結会計年度（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）	前連結会計年度（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）
Ⅰ　営業活動によるキャッシュ・フロー	**3,541,287**	**4,827,651**
Ⅱ　投資活動によるキャッシュ・フロー	**△2,204,236**	**431,535**
Ⅲ　財務活動によるキャッシュ・フロー	**△1,114,223**	**△1,018,879**
Ⅳ　現金及び現金同等物に係る換算差額	**683**	**—**
Ⅴ　現金及び現金同等物の増減額（減少：△）	**223,510**	**4,240,307**
Ⅵ　現金及び現金同等物の期首残高	**14,264,479**	**10,024,171**
Ⅶ　現金及び現金同等物の期末残高	**14,487,990**	**14,264,479**

連結株主資本等変動計算書（要旨）

当連結会計年度（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成21年3月31日　残高	**7,934,100**	**8,371,830**	**28,396,914**	**△9,261,346**	**35,441,498**
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△1,106,776		△1,106,776
当期純利益			4,511,445		4,511,445
自己株式の取得				△132	△132
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）					
連結会計年度中の変動額合計	**—**	**—**	**3,404,668**	**△132**	**3,404,536**
平成22年3月31日　残高	**7,934,100**	**8,371,830**	**31,801,583**	**△9,261,478**	**38,846,034**

	評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計		
平成21年3月31日　残高	**△382,795**	**6,356**	**△376,439**	**306,470**	**35,371,529**
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当					△1,106,776
当期純利益					4,511,445
自己株式の取得					△132
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）	△73,107	587	△72,519	△306,470	△378,990
連結会計年度中の変動額合計	**△73,107**	**587**	**△72,519**	**△306,470**	**3,025,545**
平成22年3月31日　残高	**△455,903**	**6,943**	**△448,959**	**—**	**38,397,075**

（注）繰延ヘッジ損益は、関係会社である昭和情報機器株式会社に対し、持分法を適用した結果、発生した項目であります。

Non-consolidated Financial Statements ［単体財務諸表］

単体貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科　目	当事業年度末 平成22年 3月31日現在	前事業年度末 平成21年 3月31日現在
資産の部		
流動資産	17,195,727	17,996,303
固定資産	17,523,538	15,649,772
有形固定資産	5,791,386	4,004,716
無形固定資産	116,814	57,555
投資その他の資産	11,615,336	11,587,500
資産合計	**34,719,266**	**33,646,075**
負債の部		
流動負債	3,591,359	4,531,478
固定負債	661,446	626,346
負債合計	**4,252,805**	**5,157,825**
純資産の部		
株主資本	30,781,299	28,738,621
評価・換算差額等	△314,838	△250,370
純資産合計	**30,466,460**	**28,488,250**
負債純資産合計	**34,719,266**	**33,646,075**

単体損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科　目	当事業年度 （平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで）	前事業年度 （平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで）
売上高	**23,159,815**	**22,887,190**
売上原価	**12,892,489**	**12,504,913**
売上総利益	10,267,326	10,382,277
販売費及び一般管理費	6,494,819	6,351,095
営業利益	**3,772,506**	**4,031,182**
営業外収益	**1,281,697**	**1,302,199**
営業外費用	**—**	**3,501**
経常利益	**5,054,204**	**5,329,879**
特別利益	**279,929**	**39,113**
特別損失	**748,784**	**315,656**
税引前当期純利益	**4,585,349**	**5,053,337**
法人税、住民税及び事業税	1,703,447	1,678,642
法人税等調整額	△267,685	△57,534
当期純利益	**3,149,587**	**3,432,228**

単体株主資本等変動計算書（要旨）

当事業年度（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）

（単位：千円）

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計		
					別途積立金	繰越利益剰余金			
平成21年3月31日　残高	**7,934,100**	**8,371,830**	**8,371,830**	**372,109**	**4,600,000**	**16,721,927**	**21,694,037**	**△9,261,346**	**28,738,621**
事業年度中の変動額									
剰余金の配当						△1,106,776	△1,106,776		△1,106,776
当期純利益						3,149,587	3,149,587		3,149,587
自己株式の取得								△132	△132
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）									
事業年度中の変動額合計	**—**	**—**	**—**	**—**	**—**	**2,042,810**	**2,042,810**	**△132**	**2,042,678**
平成22年3月31日　残高	**7,934,100**	**8,371,830**	**8,371,830**	**372,109**	**4,600,000**	**18,764,738**	**23,736,847**	**△9,261,478**	**30,781,299**

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成21年3月31日　残高	**△250,370**	**△250,370**	**28,488,250**
事業年度中の変動額			
剰余金の配当			△1,106,776
当期純利益			3,149,587
自己株式の取得			△132
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）	△64,468	△64,468	△64,468
事業年度中の変動額合計	**△64,468**	**△64,468**	**1,978,209**
平成22年3月31日　残高	**△314,838**	**△314,838**	**30,466,460**

当社ホームページのご案内

当社ホームページにて、決算短信などの財務情報のほか、各種IR資料、株式情報、株主優待のご案内なども掲載しています。
どうぞお気軽にアクセスしてみてください。

URL：http://www.mars-eng.co.jp

Shareholder & Corporate Information [株式及び会社情報]（平成22年3月31日現在）

株式の状況

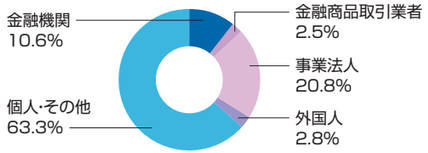
発行株式数及び株主数

発行可能株式総数…… 6,762万株
発行済株式の総数…… 2,272万株
株主数…… 10,370名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
(株)イー・エムプランニング	4,521	24.51
松波廣和	1,134	6.15
松波香代子	1,028	5.57
松波明宏	1,000	5.42
みずほ信託銀行(株) 退職給付信託 東京都民銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行(株)	600	3.25
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	580	3.15
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	551	2.99
古宮重雄	490	2.66
五味輝雄	450	2.44
永井美香	432	2.34

所有者別分布状況



所有株数別分布状況

会社概要

商号	株式会社マースエンジニアリング (Mars Engineering Corporation)
本社所在地	東京都新宿区新宿一丁目10番7号
設立年月日	昭和49年9月13日
会社の目的	1. 各種電子機器の設計・試作並びに製造販売 2. ソフトウェアの開発 3. 電子機器の開発、企画並びに販売 4. ホテルの経営 5. 不動産の賃貸業 6. 建築工事の企画、設計並びにコンサルティング業務 7. 損害保険代理店業 8. 前各号に付帯する一切の業務
資本金	7,934,100,000円
就業者数	484名(男441名、女43名)

役 員（平成22年6月29日現在）

代表取締役会長	古宮重雄
代表取締役社長	松波明宏
取締役相談役	松波廣和
取締役	村上浩
常勤監査役	佐藤忠義
監査役	竹俣耕一
監査役	小林郁夫

執行役員（平成22年7月1日予定）

常務執行役員営業本部長	秋山裕和
常務執行役員管理本部長	佐藤敏昭
執行役員R&Dセンター長	佐野邦明
執行役員技術開発部長	井出平三郎
執行役員製造部長	渡邊廣美
執行役員品質保証部長	名取満郎
執行役員営業企画部長	秋山学

MARS History 8（全10回）

大躍進後の市場激変に右往左往

ついに「初代パーソナル」登場！しかし、業界に吹き荒れる逆風がマースに直撃。

新本社ビル1階にオープンした「新宿ランドマーク店」(現在は営業終了)

平成7年は、マースにとってまさに破竹の勢いで波に乗った1年でした。7月には府中研修センター及び府中寮を、10月にはテクノ流通センターを、そして用地買収を順当に進めた翌年12月には新本社ビルも竣工させ、設備投資ラッシュに湧きました。

こうした施設の充実に伴う資金調達も、平成8年1月に米ドル建ワラント債1億米ドルの社債を発行するに至り、同年9月には東証二部へ上場も果たすなど、すべてが順風満帆でした。

ところがこの頃、パチンコ店駐車場の車中に置き去りにされた幼児が熱射病で亡くなるなどの「パチンコのめり込み症候群」と呼ばれる社会問題が発生していました。事態を重く見た警察庁が対応に乗り出し、業界の自主規制で「社会的不適合機種」に指定された遊技台がホールから次々と撤去されていきます。これを契機に設備投資を控えるホールが続出し、当社が満を持して発売した「初代パーソナルシステム」は、市場の激変や時代を先取り過ぎたこともあり、不発に終わる事態となりました。

しかし、これで引き下がるマースではありません。平成9年4月には技術開発力の強化を目指して裾野技術センターを、新本社ビルにはパチンコホール「新宿ランドマーク店」をオープンさせます。このホールでは、発売したばかりの「パーソナルシステム」を、いかにホール経営に結び付けていけるかのノウハウの把握に大きな役目を果たすこととなります。

また、経営の多角化で経営の安定を図ろうと考えていた当社は、米国、イスラエル及びハワイの外国企業へ出資して新規事業に乗り出しました。

こうした努力も、業界を取り巻く強く激しい逆風には散々でした。不適合機の撤去でホールの売上が大幅に減少した他、プリペイドカードの偽造が横行して被害が拡大し、マースを含めたパチンコ業界は一転、かつてない不況にさらされます。さらに、マースの販売代理店に依存する営業体質が業績悪化に拍車をかけ、営業力のなさが改めて浮き彫りとなりました。しかも、期待した新規事業は、先方の経営事情などもあって、すべて撤退・解消という結果に陥りました。

マースでは、これを機に、業績の立て直しはやはり本業勝負しかないと、今まで以上に新製品の開発に取り組んでいくことになりました。

10回シリーズで、マースエンジニアリングの歴史をこのコーナーで紹介してまいります。どうぞ、ご期待ください。